

(別紙 議会報告会報告書)

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
生出	○	議会報告会が開かれるたびに話をしているが、生出の問題は、道路が狭いということ。とくに冬期間は危険で、整備してもらえるよう県に求めてほしい。道路整備が進むためには、地区民がどのようなことをすればいいのか教えてほしい。前回も地域としてどのような取り組みをすればいいのかということ話をしたはず。その回答もない。
	○	三ノ戸地区は市の水道がきていない。現在、ホースで引いているが、タンクを設置し、ろ過して分配している。以前、戸羽市長が来た時に「補助を出す」と言ったらしい。市の水道を待っていたのでは10年後になりそうなので、補助をもらって個人負担が少なくなるなら賛同する人もいるのではないか。地区内で、利用する人がある程度まとまれば補助してもらえるのか。
	○	三ノ戸地区にある市道沿いの河川で土が崩れている箇所がある。水道のホースも多くあり、ブロックを設置してもえぐれてしまう状態なので、早急に対応してほしい。また、清水地区を通る旧道の市道もだいぶ傷んでいる。絆創膏を貼るように部分的に直しているが、どうにかならないか。
	○	テレビだけでなく、FMラジオが聞こえないのも問題。
	○	炭の家付近にある防災無線が聞こえにくい。設置当初からだが、今朝(5/13)の地震に関する放送も何を言っているのか分からなかった。放送が途切れてしまっている。
	○	市のコミュニティホール内に「きょうの会議」といった当日の案内板のほか、施設内の各部屋の配置を説明する案内板が必要。部屋ごとにも何の部屋なのかを知らせる案内板を設置してほしい。
		この議会報告会で出された意見や要望は、市当局に伝えて終わりなのか。この場で何かを決定することができるのか。報告会があるたびに毎回話しているが、前回の報告会で出された意見や質問に対して回答してから始めてほしい。ただ聞きっぱなしなのか。いつも「当局に話しておきます」で終わっている。前回のことを当局に伝えて、どうなったかを回答してから報告会を始めてほしい。また、先ほど市の予算に関する説明があったが、復興に関することだけでなく生出に関する内容について説明してほしい。
		梅木地区の工事も早く進めてほしい。事故が起きてからでは遅い。冬場に凍結して車がスリップする。ケガ人が出て市が賠償したこともある。

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
生出		<p>前回の報告会には矢作町の議員が来なかった。あいさつだけで一言も話さずに帰った議員が2人いた。その時、林道のがけ崩れが何度も起きている場所や護岸工事について話したが、「土木課に行け」といった回答だった。今回は地元の議員が来るということで来た。「土木課に行け」などと言うなら来た意味がない。</p>
		<p>市の今年度予算の中で、生出に関する新しい事業はあるか。この地区は木炭発電や水力発電などに取り組んでいるが、「環境にやさしいまちづくり」として何か生出地区に関する事業はあるか。</p>
		<p>テレビ組合について、不公平を感じる。今の世の中、アンテナを立てれば見ることができる時代に、一戸あたり7万円から8万円も負担してテレビを見なければならぬのはおかしい。市で補助金を出してもらえないか。</p>
		<p>水道に関して、6トンのタンクから10軒ほどがホースを引いて利用している。今朝の地震でタンクがずれたせいか、水漏れしているので対応してほしい。</p>
		<p>水道はぜひほしい。生活していくには水が必要で、毎日あやしい水を飲んでいる。健康都市を標榜する本市としては恥ずかしいことで、善処してほしい。</p>

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
矢作	○	新笹ノ田トンネル建設の署名活動に協力したが、その後、どのような進行状況になっているのか。また、笹ノ田トンネルや国道343号は、震災後、復旧活動や支援事業に大変活用された道路であり、復興道路としての取り扱いにならないものか。
		流木でダム状態になる二又橋の補修工事はどのようになるのか。橋げたを除いた橋に作り替え、災害が起きない橋になって欲しいのだができないのだろうか。
		大船渡線の鉄路での復旧状況はどうなっているのか。
		市議会議員の皆様が地元の県会議員や国会議員と話し合う機会を設けているのか。その方々と意見交換をして住民の意見を分かっていたら、国、県に吸い上げて欲しいのだが。

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
下矢作	○	大嶋部(2区)の自治会館が流失している。再建整備の土地の借地は確保しているが、自治会館整備事業の説明について。
	○	防災関連の要望 土砂災害危険に指定された場所の表示をしてほしい危険個所の対策はどのようになっているのか。津波遡上高を地域に表示してほしい。防災無線は声だけでなく、光でも発信してほしい。強い流れのそばのガードレールに、空のペットボトル2本を紐で括り付け、咄嗟の時の救命具に使用している所があると聞いたが市として、設置を考えてはどうか。
	○	国は、復興予算の一部を地元負担とする考えがあるが、市議会として反対行動を起こさないのか。
		震災復旧の対象になる範囲はどこか。住まいのリフォームという支援制度が出来る前に、自力でリフォームしたものは対象になるのか。県産材を使用した場合に、補助制度があるが、産地証明書の手続きを簡素にして欲しい。
		災害仮設住宅の点検は、いつからやるのか。
		仮設住宅の通路に水がたまるので困っている。何処へ連絡すればいいのか。
		平成27年度予算が、前年度より減額になっているのはなぜか。
		荒川山谷線の道路工事の進ちょく状況はどうか。
		嶋部から今泉への道路の復旧工事計画を住民に説明してほしい。※地権者の説明 26年8月11日2回行っている。
		陸前高田市に支援していただいた方々の名前を、市民に公表してはどうか。
	気仙中学校の避難場所は、気仙小学校になっていた。災害時二日市の高台に避難した。学校の避難マニュアルの見直しが必要ではないか。	

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
横田	○	横田中校舎の後利用について、保育の件、児童・学童の件、介護の件などいろいろありますが、介護施設が良いのではないだろうか。
		市の人口減少し、今後、老人だけになるのではないかと懸念される。市では人口減少対策について、何か考えているのか。
		昨年12月に被災した方々に対する援助金について、どのような理由で住宅被害の方々にだけに支給したのか。震災で家族を亡くした方々に対しても、被災者として平等に扱うべきではないのか。
		自家水（井戸水）を調べてみたところ、大腸菌が多くて飲めない。仮設住宅の浄化槽からの排水によるものと思われる。原因を調査し、ベストな対応を望む。
		松原付近の国道45号線は今後、現状の高さなのでしょうか。
		若い同級生の方々の飲食会（同級会・同窓会）を援助するものがないのか。若い人たちの集まる・交流する機会が少ないので、若者が集まる組織などに応援をして欲しい。
		元気な若いリーダーを育てて欲しい。
		青年会などの活動があれば良いのだが。

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
竹駒	○	再建される県立高田病院の内容はどのようなものか。
	○	市政懇談会を復活してほしい。
	○	廻館橋から500Mまでの340号改修工事業者決まったが、あとの工事が決まっていない今、地元一部負担を求める国により、建設工事が途中で終わるのでないかと心配です。以前に道路に使うからと売られ、今度は、新しく道路をつくるからと売った土地を買われ、計画された水路と道を売られた。
	○	公営住宅一室当たりの建設コストは2800万円で、住田の市営住宅の一戸当たりの建設コストは1800万円である。今後の建設を戸建て見直してはどうか。
	○	愛宕山が削られ、新しく今泉のまちができるので、博物館を気仙町に建設したはどうか。
		復興交付金の一部地元負担に対して、議会として、なぜ、積極的な動きを見せないのか。
		基金の積み立て250億円されているが、事業期間が過ぎて、国が事業の見直しで、復興交付金の返却を求められるか。
		移転用地管理費の充実を。
		高台移転で切土盛土して住宅を建てるさいに地盤調査し、盛土の地耐力は基準をクリアしているが、切土の方が強すぎて、将来地盤が変形する可能性があるので、市として責任を明確にもらうために、議会で質問し議事録に残してもらいたい。
		新エネルギー設備導入促進事業費は何か。
		小学校再生可能エネルギー等導入事業は、どこに導入されるのか。
		区画整理事業が目に見えない。
		人口流失について、どのように考えているのか。
	大船渡線の鉄路での復活の見通しはどうか。復活を望むならば、我々は車を捨ててJRを利用すべきだ。	

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
竹駒		B R Tの方が便利と思うのであれば、早く決断すべきでないか。
		長部災害公営住宅の入居状況はどうか。
		市長は、若者の意見を聴くだけでなく、年長者の意見も聞いてもらいたい。
		防災集団移転事業が、まだ終わっていない地区はどこか。

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
今泉	○	今泉地区の農地を国道340号線と同じ高さにし、姉齒橋下流の両側の堤防の高さをあと1メートル高くできないものか。また、嵩上げ工事が遅れていると思うが、その理由と原因はなにか。そして、進捗状況はどのようになっているのか。
		復興大臣が被災地の補助事業で、一部地元負担を課すといわれているが、どのようになるのか。
		被災者が住宅を建設するための補助制度はいつまでなのか。今泉地区のかさ上げは平成30年を過ぎる場所があるというが、補助の期限は間に合うのか、遅い地区に関しては補助の期限を延ばしてほしい。
		災害公営住宅の空き部屋について、特に3DKが残っているのはなぜか。今後の入居率を高めるために入居条件等の検討をどのように考えているのか。そして、入居後の家賃はどのように変化し、施設の維持管理をどのようにするのか。
		吉田家を含めた付近のビジョンはどのようになっているのか。
		かさ上げ地にある私物を撤去はしたものの、小さくフェンスとかロープにより境を区切っているが、その対応はどのような理由があるのか。

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
長部	○	松くい虫が拡大発生している。松くい虫防除対策は怎么样了しているのか。
	○	上長部地区の水道石綿管の交換整備は怎么样了しているのか。
	○	災害公営住宅への出入り口が狭いので、広くしてほしい。
	○	双六の高台から、公民館への道を造ってほしい。
	○	矢作川の淵を走っている343号線が洪水で破損し、一年以上も片側通行しているなので、早急に改修してほしい。
	○	上長部の川岸に改修工事でガードレールを設置されたが、上流60M分残っているなので、早急に改修してほしい。
	○	復興予算の一部負担を地元へ押し付けようとしている国に対し、各自体の市長、議員が力を合わせ、反対運動を進めていくべきでないのか。
	○	災害公営住宅の入居希望の数が少ないと聞くが、一般市営住宅として、入居できないのか。
	○	仮設住宅団地は、現在、気仙では8⇒6団地となった。国では、仮設住宅入居を5年まで延長をみとめたが、6年以降の仮設住宅入居者の移行をどのように考えているのか。
	○	二日市の土地を買収した所の草刈りは、市役所で実施願う。
	○	大船渡線の矢作駅までの鉄路復旧を是非実現して欲しい。
		災害援護資金貸付金は、個人宅だけで、自治会館の改修には使えないのか。
		公共下水道設置事業に関連して。漁業集落排水事業で水路の改修はないのか。何世帯なら、集落排水ができるのか。合併浄化槽の維持管理費と、集落排水の負担額と差異を知りたい。
	旧45号(福伏地区)の海側に向けて、今でもごみを投げている人が多いので、早急に不法投棄への対策を講じてほしい。	

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
長部		市税を増やすために、議員としてどのような雇用施策まちづくりを含め働いてほしい。

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
高田		配布された資料で、1ページと2ページは予算の単位が「万円」となっているが、3ページ以降は「千円」単位となっている。見やすく単位をそろえてほしい。
		資料の3ページ以降の予算に関し、(3)までが復興交付金で行う事業で、(4)の「その他の事業(通常分)」が被災があってもなくても、健康保険とか市職員の給与など、普通に支出される事業か。
		資料3ページの「高田北地区(東区)復興整備事業費」は市民体育館のことと聞いたが、いつごろ完成する予定か。平成29年度までにできるのか。私は剣道をやっている。現在、高田一中の体育館で千葉周作大会を開催しているが、2コートに縮小して行っている。できれば以前の体育館のように4コートほしいし、2階から観覧できるようにしたい。29年度に新体育館が完成すれば、東日本の剣道大会を計画していきたい。
		資料4ページに「保健体育施設建設事業費」があるが、これは体育館を建設するものか。保健体育というのは、震災前になかったと思うが、新しい施設を建設するということか。
		市民の暮らしが安定したまちづくりに「保健福祉総合センター建設事業費」がある。これはセンター建設に向けた基本構想づくりの予算化との説明だった。その中で、高齢者とか福祉とか、介護とかを一括してやりたいような話だったが、福祉を考えた時に、現在は母子協もなく、子育て世代とか、すべての世代が総合的にみられるような施設を考えているのか。どのような世代を考えているのか。母子センター的なものなのか、子育てに手厚いものになるのか。いろいろな世代から話を聞いてセンターを整備していくのか。市長がいうノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくりを考えた時、ノーマライゼーションは福祉用語であり、福祉一括で考えると、本市は高齢化が進んでいるので、高齢者福祉を手厚くということになりがち。このまま市として存続させていくためには人口の流出を止めなければならない。若い世代に頑張ってもらい、子育てのしやすいまちづくりを進めていかないと人口が流出していく。お年寄りを大切にしながら若い人たちとも手を携えて生活しやすいまちづくりを目指すことが必要。福祉をもっと総合的にみなければならない。色々な世代の声を聞いてほしい。
	体育施設の整備については、屋内だったり室内だったり建物の話のようだが、以前、メモリアル公園や旧サッカー場、野球場の図面が各戸配布された。周辺に更地や空き地があるなら、グラウンドゴルフ場を整備してほしい。震災前、県内で一番早い時期に春一番大会を開催してきた。参加者は500から700人で、内陸部から多くの参加があった。いまでも広い海を見ながらプレーしたいという声がある。教育長から長部のサッカーグラウンドを使ってくれと言われているが、サッカーの場合は芝が6センチ以上で、ゴルフボールは5センチ。サッカーグラウンドでやるとボールが芝に沈んで飛ばないため、選手から嫌われている。ぜひ、一般の公園にでもグラウンドゴルフ場を設けてほしい。この4年間は内陸部からだいぶ招待されたが、高田保育所跡地でできるようになってからは招待がなくなった。	

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
高田		<p>現在、復興のために莫大なお金が使えるようになっている。心配なのは、これから体育館などいろいろなものを建てるようだが、本市は本来約100数十億円規模の一般会計予算のまち。復興が終わって元に戻っても増えることはない。いまお金があるからといって建物を建てたら、保守管理を自前でやらなければならない。その費用は次の世代に負わせてしまう。身の丈に合った事業を進めるべき。福祉や子育てを重点に進めていくべき。</p>
		<p>新年度予算が可決され、各種事業が行われると思うが、よく「高田は遅れている」との声を聞く。議員が監督、指導し、指摘しながら早く進めるよう頑張してほしい。</p>
		<p>報道によると、国の震災に対する支援のお金を切るような話がある。市長だけでなく、みんなで国に継続して予算をつけてもらえるよう、力を合わせ、市民も署名活動をするなら協力すると思う。道路関係では自主財源でやるようにとの公表もあるが、我々の税金だけでは容易でない。</p>
		<p>仮設住宅に住んでいる被災者は、仮設暮らしが4年を過ぎた。災害救助法によれば仮設住宅は2年とされているが、われわれは換地する場所が遅れている。28年後半から29年に完成するという。最近地震も多く、細い杭の上に建っている仮設なので、ひっくりかえらないか心配。雨漏りや風も気になり、服もカビたり、早く仮設を出たいと思っているが、教育委員会が造成地を発掘調査したりしている。仕方ない面もあるが、一日も早く仮設住宅から出られるようお願いしたい。そうして小中高校の校庭を開放したい。</p>
		<p>中心市街地に関し、当初はコンパクトシティという構想があった。しかし、そこには新しい市庁舎もなく、県立高田病院もない。高田松原のメモリアル公園の計画を聞くと、また国道45号線沿いの開発が進んで繁盛し、駅前通りが閑散とするようになるのではと心配している。音楽ホールのような施設や博物館、図書館はできそうだが、病院がなくなったのは残念。何が中心になるのか。</p>
		<p>平成25年度に高田一中で行われた説明会で、移転先の高台1はこのコミュニティホールのある場所だった。高台2は高田一中の北側で、「移転先としてどこを希望するか」と聞かれた。私は震災前に高田一中の南側に住んでいたため、一番近くの高台2を希望していた。しかし、昨年夏に移転先を行政区で分けられ、「高田町の一区乙はすべて高台3ですよ」と言われがっかりした。以前から高台2の工事が進んでいたため喜んでいましたが、高台3に行くのが嫌で元のかさあげしたところでいいとした。夢を持って「もう少し」と思っていた。最初の話だと、26年度の後半から家を建てられるというものだった。市の計画は議会で承認したものと思うが、市当局に対抗できるような議会であってほしい。市当局の提案がすべて議会を通過している。一部修正もない。もっと頑張してほしい。</p>

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
高田		<p>市役所の位置に関し、以前市民のアンケートをとったが、今後何らかの市民アンケートをとる予定はあるか。高田町和野地区の道路についてもそうだが、鳴石ヶ丘をまっすぐ行って抜けるというのに、計画の途中で鍵状にしかできないことになった。図面ができあがり、着工した後に地主の関係で鍵状にしかできないという。今後、市民からアンケートをとってどれほど生かされるのか。商業地についても、商工会のグループが検討している。また、市民有志が自分たちのまちづくりの構想を個々に会議を開いてまとめている。これらを市民アンケートでまとめることができないのか。大学教授が考えた各グループで協議しているように報道されている。</p>
		<p>ほかの地区で開かれた議会報告会にも出席したが、ある会場で「高田小学校は高台移転するが、なぜ小友小学校は移転しないのか」との質問があった。ある議員は「高田小学校が高台移転するのは、まわりの道路を拡幅するので、校舎や体育館を壊さなければならない。だから高台移転するんだ」と回答し、ほかの議員は何も言わなかった。私は被災したから高台へ移転すると思っていたので、違ったと感じた。また、平成26年の市街地復興効果促進事業で、小学校建設計画策定事業というのがあり、「気仙小と高田小は地域防災拠点の役割を踏まえた施設として整備するので、地域住民や有識者の意見を踏まえた計画を策定する」とされ、期限が今年の3月15日だった。この計画は実際に進んでいるのか。</p>
		<p>先週、市のホームページに「集落再生に向けた住民懇談会の開催」というのが掲載された。それは、おそらく被災地域土地利用計画事業の平成26年度事業で、長部と広田で行い、次に米崎と小友で行い、計画では高田も今泉も、下矢作も竹駒も住民懇談会を行う内容となっている。早く開催しないと、お金がなくなるので催促してほしい。</p>
		<p>議員は先頭に立って復興の進ちよく状況を把握し、中身をもっと吟味しながら、市当局に注意すべきところは注意して頑張してほしい。</p>

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
米崎	○	震災前、市内でグラウンドゴルフの春一番の大会を行っていて、720人も参加する大会だった。震災前日には大会を控えて準備をしていたが、すべて津波に流されてしまった。市外からも多くの人に来ていたが被害がなく良かった。その後、本市のグラウンドゴルフ協会に多くの支援をいただいた。その恩返しに、ぜひ春一番の大会を再現したい。支援に対するお礼がしたいので、復興祈念公園で春一番大会が再現できるようお願いしたい。
	○	浜田川沿いの道路にガードレールをお願いしたい。乗用車やパトカーが川に落ちたこともある。また、高田東中学校の「田中土手」も、狭く危険なので、ガードレール、金網等を設置するなど、安全対策をしてほしい。
	○	アップルロードから伝承館に通じる道路を大型の観光バスが通っているが、狭く運転手が苦勞しているので拡幅をお願いしたい。
		本市では大規模な復興事業が行われているが、予算上の各基金は「何年以内に使わなければならない」というような制約があるのか。完成するまで使えるのか。お金を積み立てているということか。
		東日本大震災の被災県の中でも本市の復興が一番遅れているように思える。盛り土をしてからというが、一軒の小屋も建っていない。今後、国の予算が南海トラフ対策や東京オリンピックに使われ、震災復興が遅れることが心配される。一日も早く復興計画が遂行できるようお願いしたい。
		市の予算に関し、復興関連事業の東日本大震災復興関連基金積立金の約240億円について詳しい説明を。
		震災後、三年連続で本市の予算は一千億円を超えているようだが、市税はどれほどで、歳入の何%か。ほとんど国からのお金と言うことか。来年度から復興予算に一部負担が伴うということは大変なこと。震災後、安倍首相は2回ほど高田入りした。被災地で何を見ていったのか疑問。
		予算の自主財源には何があるのか。
		下水道事業特別会計に関し、高田町の下水道本管の掘り起こしなどの経費も含まれているのか。
	米崎町内で簡易水道が通っていない地区は自力で水道を引いたり、井戸を掘っている世帯がある。この地区は平成30年度ごろに市が整備を計画しているようだが、一日も早く整備されるようお願いしたい。とくに、高台移転した世帯には配慮してほしい。	

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
米崎		<p>予算にある保健体育施設建設事業費26億円はどこにどのようなものを建てるのか。また、保健福祉総合センター建設事業費100万円は同じところに建てるのか。</p>
		<p>現在、高田松原津波復興祈念公園基本計画案に対するパブリックコメントが行われているが、その経費は今年度の市の予算に計上されているのか。復興は現状復帰が基本と言うことで、有識者は松原球場やサッカー場を回復させようとしている。130ヘクタールの面積は機能回復が前提か。そういうところにそれだけのお金を使おうとしているのか疑問。今後、予算が厳しくなることが見込まれており、自治体の一部負担の話も出ている。ならば将来を見据えたまちづくりを考えるべき。復興祈念公園にしようとしている場所は、以前はあの場所からも固定資産税が納められていた。国有の施設になったら、どうなるのか試算しているのか。何でも造ってもらえばいいということではない。10年後、20年後、公園ができたはいいが、人口も減るのではないか。</p>
		<p>復興祈念公園に関し、菅野空之助翁や松坂新右衛門翁の顕彰碑などを何とか見つけ出し、新しい公園に設置してほしい。松原を守る会や有志ががれきを片付けながら石川啄木や高浜虚子などの碑も探したが、見つからなかった。陸上はほとんど探したが見つからなかったので、古川沼の底に沈んでいるのではないかと思う。市内にはいまだ200人以上の行方不明者がいる。古川沼を浚渫するなど、底をさらいながら不明者と記念碑を捜索してほしい。</p>
		<p>米崎消防団の1部、2部、3部の新たな屯所の場所は決まったか。</p>
		<p>震災前、松原球場や野外活動センターでは、気仙地区の中体連が野球やサッカー、テニス、陸上などのさまざまな大会を行ってきた。今後、祈念公園ができて、以前のような競技が行われるようお願いしたい。その上で、公園に一度来たら、また来たくなるよう、お花畑を設けることなども考えてほしい。季節ごとに花が咲くような場所があれば、全国から見学に来て市内の物産を買ってもらえるのではないか。</p>
		<p>市内で高田と米崎が広く震災の被害を受けた。県内でも気象条件が一番温暖な場所。利用されない場所は地域の活性化に有効活用できるようお願いしたい。野球場もひとつだけでなく、サブ球場などとして利用してほしい。</p>
		<p>まちづくりについて、国や県がだめということだけでなく、市民が求めるものであればぜひ事業が進められるようお願いしたい。</p>
		<p>土地区画整理事業の予算には、巨大防潮堤の予算も含まれているのか。</p>

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
小友	○	市の予算は震災前に比べ10倍になったというが、復興が終わった時に若い人が残っているのか。若者が定住するような施策を展開すべき。目先のことばかりを見ないで、人がいなくならないような定住策を進めるべき。
	○	I L Cが誘致できれば多くの人が来る。ただ指をくわえているだけではだめで、これから対応を考えておくべき。
		小友小学校の避難路整備に八千万円の予算がついたというが、それよりも、何年かお金を貯めて新しい校舎を建ててほしい。また、台風シーズンになれば沿岸地域から避難しなければならなくなるが、コミセンも浸水区域にあり避難所にならない。「公営住宅の空き室に逃げろ」と言われているが、その際のトイレと水をどうするのか。ハザードマップにも出ていないが、井戸水が湧くようなところを書き込むことも必要と思う。
		震災復興のため、例えば農家のトラクターに十分の八の補助がでたという話を聞いてビックリしている。私も被災しながらも商売を再開したが、市から50万円の補助をもらった。その際、設備投資に一千万円借金したが、市から「設備投資にかかった道具類の金額を報告しろ」と言われて報告したら、毎月8万円ほどの固定資産税を納めなければならなくなった。これで活力あるまちづくりができるのか。今後、消費税も上がるので心配。
		高田町の火葬場周辺で「高台移転のための工事が進められている」と思ったら、体育館とプール建設のための工事だという。今、本当に必要なかと疑問に思う。仮設住宅に住んでいる人たちは、住宅再建を一番に望んでいる。公共施設建設よりも住宅再建を優先すべき。アパート経営していた人たちに対する補助もない。県内陸部の自治体では被災者に住宅の施策を展開しており、それに対抗できるのか。
		コミンセンとして、一番の問題は小学校。被災している小学校に子どもを通わせているのはどうかと思う。避難するとなれば、仁田山方面にはモビリアがある。しかし、小学校の近くに子どもたちが避難できる場所がない。避難させるにしても道路は車で混雑し、安全に子どもを避難させることができるのか疑問。
		地域の問題として小友郵便局をどうするかということがある。見通しはどうなっているのか。
		子どもたちの命をどのように思っているのか。小友小学校の統合についても噂に出始めているようだが、子どもたちを危険な場所に置き、先生に任せっきりでいいのか。

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
小友		小学校の問題について、これまで何度も議会報告会で要望してきたにもかかわらず解決しないというのはどういうことか。国からお金が出ないから、いくら騒いでも限界ということか。この事実を住民はどのようにとらえればいいのか。子どもたちの命がかかっていると思っている。
		小学校の問題について、ダメならダメと言ってくればいいのかと思う。最近市内でも1年間で100人ほどしか生まれてない。将来的に市内に小学校も中学校も1校ずつになるのではないか。このままズルズルと引きずるのは決して良くない。
		スクールバスを出して、高田に通わせたらどうか。
		北海道で400年に一度襲う津波がこれまで何度も発生しているらしいが、前回の津波からすでに400年が過ぎていくという。その津波は気仙沼で6メートルに達し、いつ起きてもおかしくない状況にあるようだ。南海トラフなどの大地震による災害も心配。そのような心配に手を打っておかなければならないのではないか。
		若い人の人口流出についてどのように考えているのか。
		震災前、高田小学校は毎年100人ぐらいの入学児童があったが、今では30人ほどと聞く。親の若い世代がいなくなったということでもある。高校新卒者も見当たらなくなり、大卒者が帰っているようでもない。例えば奨学金制度でUターン者には奨学金を返さなくてもよくすることができないか。
		子どもたちが安全に、安心して暮らせるように予算を使うのは当たり前。同時に若い人たちが定住し、子どもを増やしていけるような施策が大切。
		市議会で特別委員会を設け、人口増加に向けた全国にない本市独自の施策を考えてほしい。例えば、雪沢や玉山の金山を掘って人集めするなど、思い切ったことをすることが必要。
		新卒者が就職できるような環境を整備してほしい。若い人がどのような仕事を望んでいるかニーズを把握すべき。介護職が人気がないのは賃金が安いからだと思う。
		人を集めるには交通手段を整備することが大切。仙台港からホバークラフトで松原に乗り入れできるようにすればいい。そのような発想が必要で、蛮勇を振るってほしい。
	漁業の生産者が減っている。個々には復旧しているが、若い人を集めないと魚も食べられなくなる。	

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
小友		カキやワカメも農業のように共同でできないか。個人だと細々となつていくなら考えていくべき。ワカメでも、収穫する人と芯抜きする人を分けるなど、共同作業が必要。
		只出地区など、共同でやっているところもある。しかし、ワカメの芯抜きなど、従事者が高齢化して少なくなった。そのため芯を付けたまま出荷せざるを得なくなっている。カキも同様で、殻つきのまま出荷し商品価値を落としている。
		一本松を見に多くの人が訪れている。そのような人に新鮮なカキなどを食べてもらうようなことも必要。
		以前の道の駅で市外の人が商売をしていた。今後、そのようなことがないようにお願いしたい。
		昭和50年代、只出地区で56人がワカメ養殖していたが、現在は7人にまで減少した。今後、どのようにして人数を増やしていくかが課題。
		以前、ワカメの芯やメカブを捨てていた。それを商品化して儲けた人がいる。漁業者も、そのようなことをひとつの産業として考えていくべきだった。
		広田町につながるアップルロードがどの程度かさ上げされるのか。大震災の時に陸橋を津波が越えたが大丈夫か。
		小友小学校の移転の問題がなかなか進まないようだが、市議会に請願を出すような動きはないか。

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
広田	○	羽根穴(朝日道路)の側溝が未整備となっているが、道路の拡幅と併せて側溝の整備ができないのか。
	○	診療所の建設計画はどうなっているのか。
	○	震災遺構のありかたについて、気仙中学校、タピック45、雇用促進住宅と震災遺構が残されているが保存には費用もかかると思うがそんなに必要なのか。
	○	被災した街並み、海岸地区に街路灯も防犯灯もない、市民の安全安心のために街路灯・防犯灯など早く設置して欲しい。
	○	広田町の将来のまちづくりをどのように考えているのか。
	○	子育てのまちづくりをどう考えているのか。
	○	住民から(防集)賃借料の徴収の金額の算定基準がおかしい。防集の地区説明会では、賃貸料は固定資産税相当額と説明されたが、際の契約では、分譲価格の1.5%となっており、実際には大きな開きがあり、その説明がなされていない。
		被災した高田小、広田保育所は高台に移転出来るのに、小友小は、避難通路設置だけで、なぜ、安全な高台に校舎を移転できないのか。
		子どもたちに、安全な場所での授業を受けることについて、議会で討議する必要があると思うがどうか。
		一本松に関連した項目 一本松基金はなぜ、一般財源から出ているのか。今後、一本松の維持基金が無くなったら、どのようにするのか。予算書に、一本松維持管理費341万円が計上されているが、内容について議会で話し合わないのか。
		市立図書館の建設場所は、津波がこなかった場所にしてほしい。
	議会への請願の不採択の、漁村集落環境整備事業を当局が進めている。不採択の事業予算を承認することは矛盾するのではないか。	
	24年、25年度の復興予算に計上されたものが、27年度予算書に計上されているのは、なぜか。	

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
		平成25年度の決算で、400億円を超える自主財源となっているが、なにが入っているのか。
広田		<p>コミセン会長からのお話。 広田コミセンでは、町民から、「どのようなまちにしたいか」のアンケートをとり、活かしていく。広田保育園の建設は、県と連携して、設置場所を決めた。広田保育園では、園内に子育て支援の部屋を設置している。行政まかせではなく、住民が力を合わせていく。</p>

地区名	市長への 申入事項	主な要望・提言等
住田町	○	住田町の火石仮設住宅団地には、陸前高田市民が現在6軒入居している。平成30年度には、新たな国道340号線が火石仮設住宅団地の敷地内に整備されるため、それまでに仮設住宅から出なければならない状況になることが見込まれる。そのため、市内の仮設への受け入れや、災害公営住宅への入居、そして、新たな住宅への引っ越しの支援など、市の良心的な対応を望む。
		震災で妻、子ども、家族を亡くし、ひとりになった男性から生きていく自信がない旨話される。高台移転を希望しているが、市内に住む自信がないという。4年経った今でも心のケアが必要な人がいる。
		仲上仮設には、陸前高田市に勤めている市民がおり、片道20kmと遠距離である。通勤の燃料代について、1か月に15日～20日の通勤に対して月1,000円～2,000円程度の商品券等による補助があると良いのではないかと。人口減少の歯止めになると思われる。
		復興工事の進行状況にオリンピックの影響はあるのか。